

アジェンダ21すいた 会議記録表（12月）

記録：大林

会議名	12月 フラッグシッププロジェクト(食品ロス削減)
日時	令和3年12月17日(金) 10:00~12:00
場所	メイシアター 第1会議室
出席者 (敬称略)	水川、池淵、柏原、大林、小山、廣瀬、大澤、田中
欠席者 (敬称略)	なし
配付資料	資料1 すいた食べきり運動 状況整理メモ 資料2 バードツリー店長との協議結果 資料 すいた環境教育フェスタ2022 出展「パペット劇場」原稿(一部) 資料 フードドライブのチラシ
内容	<p>1 すいた食べきり運動推進協力店について(資料1, 2)</p> <p>(1) すいた食べきり運動を今後どうするかについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力店の照会作業について、前回の確認から1年ほど経過したのを機に、再度趣旨説明等を行い確認作業をしてはどうか？ ・ホームページで各店舗の紹介をする予定なので、各店舗の写真も必要になる。ホームページの見本を作り、全店を訪問、説明する。 ・何を持って回るかのセットを作ったうえで、3月頃から二人一組で回る。 ・店舗周り計画を事務局にて作成する。 <p>(2) バードツリーでのペロリンコ缶バッチ配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶バッチ配布に当たって、子ども用メニューに、食ロス啓発のスペースを提供してくれる。 ・バードツリーでのキッズメニューは月1000個ほど提供されている。啓発が目的で、また予算もあるので、現在ある缶バッチ700個を配布のうえ、追加でマグネットを作る事も考慮していく。 ・子ども用メニューの啓発スペースにQRコードを貼り、食ロスに関するアンケートを行う。アンケートについては、プレゼントはなし。 ・試験的試みとして、啓発をする前と後で、食べきった子どもに缶バッチを配り、配布数で反応を数値化する。お店には、数えやすいようにバッチを10個ずつ袋に入れるなど工夫をして渡す。 ・検証にあたっては、啓発なし啓発あり各2週間をめぐりに考える。 ・実施時期や上記についてはメール(田中さん)でお店と相談のうえ決定し、缶バッチを届けるときに会員(水川さん)が挨拶に同行する。

	<p>2 すいた環境教育フェスタ 2022 の出し物について（資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画パペット劇場「食品ロスをみんなでなくそう！！（仮題）」として、パペット 2 体＝牛乳パックにて、ペロリンコとてまえどりを作製した。 ・1 月 11 日までに完成させる。 ・クイズの回答で「茶わん 1 杯」を考えているので、一人一日当たりの食品廃棄量を取り上げる必要がある。 <p>3 その他</p> <p>1 フードドライブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/13（木）～1/27（木）まで、市役所、ゆめつながり未来館、ラコルタの 3 か所で回収。 ・新しいキャラクター「風土集（ふうどつどい）」が誕生 <p>2 エコレター記事について</p> <p>すいた環境教育フェスタ 2022 の出し物について大林が担当する。 12 月 27 日締め切り</p>
次回日程	<p>令和 4 年 1 月 28 日（金）10：00～12：00 場所：未定</p>